

# 玉

神社庁だより

# じやり

第32号

編集・発行

長崎県神社庁 教化部

令和6年発行

長崎市上西山町19-3

<https://nagasaki-jinjacho.or.jp/>



皇大神宮御正殿 (写真提供:神宮司庁)

年間六百万人以上が足を運ぶ伊勢神宮。日本人の総氏神であり、心のふるさととも称され、今日も各地から多くの参拝者を迎えています。

伊勢神宮は正式には「神宮」とのみ申し上げ、伊勢とその周辺に鎮座する二二五のお社の集合体です。その中心は、皇室のご祖先である天照大御神（あまてらすおおみかみ）をおまつりする皇大神宮（こうたいじんぐう＝内宮）と、天照

大御神のお食事をつかさどり、衣食住はじめ産業の守り神である豊受大御神（とようけのおおみかみ）をおまつりする豊受大神宮（とようけだいじんぐう＝外宮）であり、両宮に続いて十四の別宮、四十

三の摂社、二十四の末社、四十の所管社から成ります。

神宮では年間で約一五〇〇もの神事が斎行され、五穀豊穰をはじめ、国の平安と国民の幸せをお祈りしていますが、特に神様

## 伊勢の神宮

にお食事をお供えする日別朝夕大御饗祭（ひごとあさゆうおおみけさい）は、外宮の御鎮座以来、一五〇〇年にわたり毎日欠かすことなく行われています。

そして、神宮最大のお祭りである「式年遷宮（しきねんせんぐう）」では、二十一年に一度、古例のままに社殿や御装束神宝（おんしょうぞくしんぼう）をはじめ全てを新しくして、大御神に新宮へお遷りいただきます。そ

うすることで常に瑞々しい状態を保ち、ご神威が高まることを願って

きました。

式年遷宮は、持統（じとう）天皇四年（六九〇）に第一回が斎行され、戦国時代には中断を余儀なくされるものの、二二〇〇年もの間、国民の奉賛によって支えられてきました。平成二十五年（二〇二二）には第六十二回が執り行われ、次回の第六十三回は令和十五年（二〇二三）に予定されています。



## 安産祈願

妊婦さんが赤ちゃんの無事の誕生と自身の安全を祈るご祈願です。安定期に入った妊娠五か月目の戌の日に安産祈願をし、腹帯を巻きます。戌の日に安産祈願をする風習は、安産で多産である戌(犬)にあやかってこの日が選ばれました。



## 初宮詣 (お宮参り)

お宮参りは、無事に赤ちゃんが生まれたことへの感謝を神様に報告し、今後益々の健やかな成長を祈るご祈願です。一般的には男の子は三十一日、女の子は三十三日目に行列で行われています。



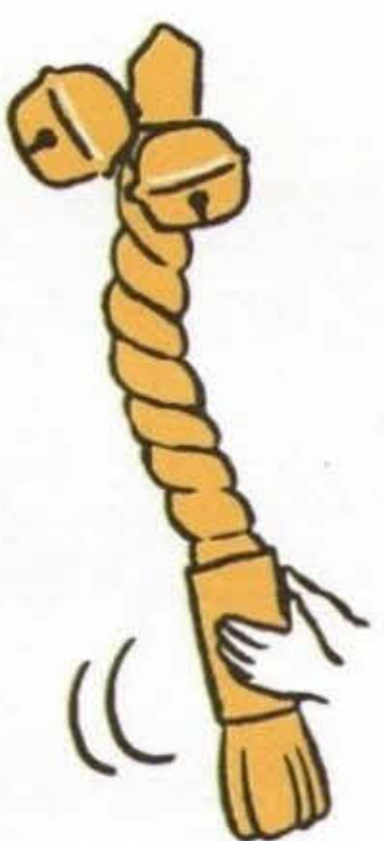
## 七五三祭

三歳の男の子・五歳の女の子・七歳の女の子の益々の成長を祈願します。七五三の日である十一月十五日前後には、晴れ着を着た子供たちで神社は賑わいます。



## 厄除け祈願

厄を落とし、災いが身に降りかからないよう願うご祈願です。特に厄年と呼ばれる年は、人生において体力的・生活環境の変化のある年で災いが起きやすいといわれています。厄除けのご祈願は、多くの方がお正月から節分の時期に行いますが、他の時期に受けても問題ありません。



# 神社での諸祈願

## 家内安全祈願

家内安全祈願は、一年間の家族の安全と健康を願うご祈願です。厄除けと同じく正月に受ける方が多いものの、いつ受けても問題ありません。ご家族が遠方にお住まいの場合は、代理でご祈願を受けることもできます。



## 健康祈願

健康祈願は、毎日健康に過ごせるように願う祈願です。身体健全祈願や無病息災祈願などいろいろな名称がありますが、ほぼ同じ内容のご祈願です。厄年に当たっていないものの、一年を無事に過ごしたいという方、病気明けの方が受けるご祈願です。



## 病気平癒祈願

現在病気をされていて、病気が無事に早く治るように願うご祈願です。家族や知人が本人の代理でご祈願を受けることもできます。その場合、ご祈願の後に神社でもらえるお札やお守りなどの授与品は、本人に渡すようにしましょう。



## 交通安全祈願

車やバイクの購入時や、事故を起こした車の厄や災いを落とす願いを込めたご祈願です。多くの神社ではご祈願の後、車やバイクのお祓いを行います。また、乗り物に限らず、自身の通勤や通学において交通事故に気を付けたい場合に交通安全祈願を受けることもあります。



## 結婚式

神前式は神社や神殿で行われる、日本の伝統、心を大切にしたい結婚式です。儀式を通じて、今までの二人の人生を支えてくれた人々、そして二人が出逢えたご縁に感謝し、神様の見守る前で、この先の人生を二人で歩んで行くことを神様に報告します。



## 還暦、年祝い (長寿の祝い)

人生で、重要な節目の年に達したことを祝い、その後の人生の無病息災・健康長寿を祈願する慣習です。還暦(六十一歳)、古稀(七十歳)、喜寿(七十七歳)、傘寿(八十歳)、米寿(八十八歳)、卒寿(九十歳)、白寿(九十九歳)などがあります。



## 商売繁盛祈願

お店や工場などの商売繁盛を願うご祈願です。業務成就祈願とよばれる場合もあります。工場などでは商売繁盛と従業員の安全祈願を合わせて行うこともあります。



## その他の祈願

その他に、金運向上祈願、必勝祈願、開運招福祈願など、それぞれのお願いによって様々なご祈願があります。お願いごとに合わせて神職が祝詞を読み上げますので、お願いごとに迷ったら神社の方に相談してみましよう。





## のし袋について

神社でご祈願を受ける際には、祈願料を紅白の水引の袋に包むのが一般的です。のし袋の上段には主に「初穂料」や「玉串料」（その他にも御神前、御神料、御神撰料、御神酒料）などと書き、下段には、ご祈願を受ける方のお名前を記入します。

なお、神道のお葬式では白黒の水引のものを用いて、上段には「玉串料」や「御霊前」と記入します。



## 玉串拝礼の作法

玉串拝礼（たまぐしはいれい）とは、神社でご祈願して戴くために昇殿参拝した際や、神事の際に神様へ「玉串」を奉って拝礼することです。

その作法は、玉串を受けて、左高に胸の高さに持ち神前に進んで、玉串の根本の方を御神前に向けて案（台）の上に奉ります。最後に二拝二拍手一拝でお参りします。



長崎県神社庁



氏神さま検索



参拝作法について



## 家が建つまでのお祭り

### ◎地鎮祭（じちんさい）

各種建物の新築、或いは各種土木工事の起工に際し、その敷地の守護神を祀って土地が平安堅固であること、そして工事に携わる人の無事安全を祈ります。

### ◎上棟祭（じょうとうさい）

各種建物の新築に際し、その棟木を上げるに当たり、家屋の守護神及び工匠の神を祀って末長く建物の無事を祈ります。

### ◎竣工祭（しゅんこうさい）

新築工事が無事竣工したことを感謝し、将来に亘って建物が安全堅固であることを祈り、併せて居住する全ての人に永くご加護をいただくことを祈ります。

## その他の外祭について

店舗事務所祓（お店や事務所開店のお祓い）・解体祭（家屋などの解体のお祓い）・増改築清祓（会社や家屋の増改築に伴うお祓い）・神棚清祓（新しく神棚を設けた際のお祓い）・埋井祭（古くなった井戸を埋めるためのお祓い）・伐木祭（木を切る作業にあたり、職人の方々の作業安全を祈るお祓い）などの外祭があります。ご不明な点やご依頼はお近くの神社にお尋ねください。

